

8. 栄養管理システム

8. 1 栄養管理システム	
1.	共通
(1)	一画面のみで容易に検索できること
(2)	帳票類の出力前に全体または一部分の画面表示（PDF表示）ができること
(3)	同一業務を複数端末で操作できること
(4)	日付入力は直接入力の外、カレンダーを起動して操作できること
(5)	個人献立に対応できること
(6)	帳票毎に印刷プリンターの設定ができること
(7)	帳票の印刷順番をパターン登録できること
(8)	マウスでもキーボードでも殆ど同じ操作が行えること
(9)	複数の帳票パターンとして登録することができ、それを一括で印刷することができること。
(10)	取消操作時に、確認のメッセージボックスが表示されること
(11)	常に画面ヘッダー部にメニュー表示ボタン、パンくずリスト、ログインユーザ名、ログアウトボタンが表示されること
(12)	各画面から任意の画面へ遷移できること
(13)	メッセージエリアが存在し、エラーや確認などポップアップ表示以外のメッセージを表示できること
(14)	詳細データ、詳細条件をグループごとに表示/非表示の切替を行えること
(15)	システム内で扱う日付は「西暦」で管理・表示できること
(16)	表示領域からはみ出した文字列を動的に省略し、末尾に三点リーダー（…）を付加し表示できること また、ツールチップにて全文字列表示できること
(17)	各マスターは使用可否（有効、無効）の設定ができること 無効のマスターは検索画面に表示されないこと
(18)	Webアーキテクチャを採用したシステムであること
(19)	フルHD（1920×1080）ディスプレイにて全画面表示できること
2.	セキュリティ
(1)	利用者管理ができること（ログオン管理、利用者使用機能制限、業務ログ管理）
(2)	利用者のパスワードはハッシュ化されること

	(3)	利用者のパスワードは8文字以上、英字・数字混在、ログインIDと同じ文字列を含むワードは指定不可の条件を満たすもののみ登録可能であること
	(4)	認証の失敗が規定回数を超えた場合、アカウントを一定時間ロックアウトすること またロックアウトは時間経過後、自動解除されること
	(5)	一定時間システムが操作されなかった場合、アクセスが切断されること
	(6)	INIファイルやレジストリの書き込みが出来なかった場合、エラーメッセージが表示されること
	(7)	データを更新した際、更新者、更新日時、更新端末の情報が保持できること
	(8)	アプリケーションの操作、画面上の指定内容についてログが保持できること
	(9)	アプリケーションの操作、画面上の指定内容についてログ保持先の指定、保存日数が設定できること
3		献立編集
	(1)	献立の登録、変更、複写ができること
	(2)	1画面で複数食種、複数患者、複数日の献立編集ができること
	(3)	1画面で料理、食品の追加、変更、削除が容易にできること
	(4)	マウスを使用して料理、時、日の献立を複写、移動、入れ替えができること
	(5)	変更した料理、食品の名称が赤字で表示されること また、最終変更料理、食品の名称が赤字、太字で表示されること
	(6)	ワンクリックで1日もしくは10日間献立編集範囲をスライドできること
	(7)	1画面で料理マスタの編集ができること
	(8)	料理、食品の検索ができること
	(9)	献立画面から料理マスタの追加、修正が行えること
	(10)	検索情報、季節、食品群、在庫区分、製品区分、食品分類グループ、禁止コメント、成分値の複数条件の組み合わせによる食品検索ができること（複数条件検索機能）
	(11)	検索情報、主食区分、食器、参照献立日付範囲、料理群、調理方法、季節、料理分類グループ、禁止コメント、成分値の複数条件の組み合わせによる料理検索ができること（複数条件検索機能）
	(12)	日本食品標準成分表2020に対応していること
	(13)	1食種9回食（朝・昼・夕・朝前・昼前・夕前・10時・15時・夜食）の登録ができること
	(14)	1献立当たり99料理構成まで登録ができること
	(15)	1料理当たり食品を99食品まで登録ができること

(16)	編集画面にて、料理の名称を編集できること
(17)	編集画面にて、料理の食品使用量を%で変更できること
(18)	標準成分、アミノ酸、脂肪酸、炭水化物、有機酸組成表、糖尿交換表、腎臓交換表、糖腎交換表がリアルタイムに計算し表示できること
(19)	他の日付の献立を参照しながら作成できること(献立参照機能)
(20)	他の献立で編集された料理内容の再利用ができること (献立検索機能)
(21)	献立作成画面で金額参照ができること 食品編集の基準単価、および発注履歴情報を参照できること
(22)	献立食品の金額の参照ができること 使用食品毎の金額を参照しながら献立作成ができること
(23)	院内約束食事箋と比較参照しながら作成できること (成分比較機能)
(24)	期間平均成分で、院内約束食事箋と比較参照しながら作成ができること (期間成分比較機能)
(25)	成分の基準値の上限下限のチェックをグラフで確認できること また、範囲内に収まっているかを色で確認できること
(26)	献立作成画面で、1時、1日、指定期間の平均成分値の参照ができ、期間平均成分の日付範囲は任意に指定できること
(27)	選択食の組み合わせによる栄養価を参照できること (成分参照機能)
(28)	各種複写機能があること(献立編集複写、実施献立間複写、献立期間複写) 一食種より任意設定食種へ移行できること その際、複写率設定ができること 食種毎に一括複写ができること 献立作成時に一日単位の献立データを前後の何れかに置換できること
(29)	献立作成時、食品や料理の重複が確認できること 同一食品 (指定食品) 又は同一料理 (指定単品又は料理グループ) の重複を自動的に検索し表示できることまた対象期間は任意で指定できること 同一料理及び同一料理グループに重複がある場合は同時に調べられること
(30)	他食種の献立内容と照らし合わせながら献立を作成できること
(31)	献立内容一括処理機能があること 変更食種を任意設定し食品、料理を一括変更又は食品分量、仕込み指示も同時に変更できること

	食品又は料理の一括追加できること
	食品又は料理の一括削除ができること
(32)	食品毎に仕込みコメントを入力できること
(33)	選択献立1食種9メニューまで対応できること
(34)	代替献立の登録ができること
(35)	マークにより、代替献立登録有無の区別をつける事ができること
(36)	個人献立（禁止・アレルギー患者）の作成ができること
(37)	献立編集画面にて、10日間分の個人献立の編集ができること
(38)	個人献立患者・代替献立患者を一覧で印刷できること
(39)	表示する成分値の順を食種毎に変更できること
(40)	予定人数の設定が患者データよりセットできること
(41)	予定人数登録時、予備人数も登録できること
(42)	献立編集中に、料理名を変更することができること 変更した料理名で、自動でマスタに追加されること
(43)	1画面で10日間分の献立編集が行えること
(44)	献立の作成日、更新日の情報が保存できること
(45)	食品、料理を検索する際、複数の条件を指定することができること
(46)	食品、料理を検索する際、成分値の条件を指定することができること
(47)	画面に表示されている献立日以外の献立の呼び出しができ、その献立内容を引用できること
(48)	基準成分値の上限・下限を設定することができること
(49)	基準成分値の充足率をグラフで確認しながら献立作成ができること
(50)	献立単価の過不足をグラフで確認しながら献立作成ができること
(51)	患者の主食指示内容に合わせて、自動で主食の代替ができること
(52)	主食の代替に対しても、代替献立・個人献立の対応ができること
(53)	料理の修正後、5回まで修正を行う前の状態へ戻せること
(54)	食品のカナ検索機能があること

	(55)	編集画面にて、料理の食品使用量を%で入力できgに自動変換されること
	(56)	任意の期間を指定し平均成分値が献立編集画面に表示できること
	(57)	約束食事箋の基準成分に対し下限値上限値の登録ができ、献立成分値との比較が行えること
	4.	献立関連帳票
	(1)	以下の献立表を有すること
		2連、3連、5連、6連、7連献立表
		献立明細表（縦、横）
		糖尿交換献立表
		腎臓交換献立表
		糖腎交換献立表
		5日、7日間献立表
		個人献立表3連
		個人献立明細表
		個人糖尿食献立表
		個人腎臓食献立表
		個人献立表7日間
	(2)	対象日付は期間指定ができること
	(3)	対象食種の指定ができること
	(4)	出力対象の「時」を指定できること
	(5)	選択食が印刷できる献立帳票を有すること
	(6)	仕込みコメントの印字の有無を選択できる献立帳票を有すること
	(7)	時毎に改ページの指定ができる献立帳票を有すること
	(8)	食種ごとに成分値の指定ができること
	(9)	以下のメニュー表を有すること
		メニュー表（時別）※横
		メニュー表（4日・7日・8日間）※縦

	メニュー表（7日間横）
	メニュー表（8日間横）
	月間メニュー表（4料理・10料理）※横
	メニュー表16日間Ⅰ
	メニュー表16日間Ⅱ
	月間メニュー表
(10)	1週間、1ヶ月単位を「時」別に設定できるメニュー表を有すること
(11)	間食印刷の指示ができるメニュー表を有すること
(12)	出力料理数の選択ができるメニュー表を有すること
(13)	備考欄に印刷文言入力ができるメニュー表を有すること
(14)	選択食の印刷指定ができるメニュー表を有すること
(15)	全印刷、通常食のみ、間食のみの印刷指示ができるメニュー表を有すること
(16)	出力料理数を選択することができるメニュー表を有すること
(17)	仕込表は材料分類グループの出力指示ができ、食数を予定か実数か選択できること
(18)	調理作業表は料理出力条件の選択が可能であり（全料理、料理指定）食数を予定か実数か選択できることまた、個人献立にも対応していること
(19)	調理指示表は各食毎に料理名、食品名、1人量、総量、食種別の人数を出力できること且つ、個人献立にも対応していること
(20)	調理作業表に患者に指示された刻み、ミキサーを集計できること
(21)	帳票毎に表示使用量は可食のみか廃棄込みか指定できること
(22)	食品別使用料理一覧表が出力できること
(23)	食品別使用量一覧表が出力できること
(24)	検食簿が出力できること
(25)	料理チェックリストが出力できること
(26)	栄養管理日誌の出力ができること（間食を含めるか否かも選択可能）
(27)	献立成分表にて時毎の成分値の合計を16日間一覧にして出力ができること
(28)	食種毎に任意の成分を選択できる献立成分表が出力できること

	(29)	栄養出納、栄養月報、食糧構成表の出力ができること
	(30)	栄養出納、栄養月報等の栄養価計算は日本食品標準成分表2020を基準に算出できること
	(31)	2020年改定日本人の食事摂取基準に対応していること
	(32)	栄養年報が出力できること
	(33)	献立表帳票は出力対象となる食種のパターンを複数登録できること
	(34)	月次の食糧構成表が出力できること
	5.	食事指示
	(1)	患者ID、患者名、患者カナ名、入院外来区分で患者一覧の検索ができること
	(2)	患者属性登録ができること（患者ID、患者名、カナ名、性別、生年月日、身長、体重、郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、コメント、主治医、診療科、禁忌情報）
	(3)	病棟、病室、配膳病棟、配膳時間、塩分制限、特食加算、食種、選択区分、主食、栄養管理加算が登録できること
	(4)	時別コメント、共通コメント、禁止コメント、禁忌コメントの入力はそれぞれ99項目登録できること
	(5)	時別フリーコメント、共通ワープロ入力コメントが50文字でそれぞれ99項目登録できること
	(6)	病態管理ができること
	(7)	カレンダー画面で指示内容が確認できること
	(8)	食事指示歴（食種、主食、病棟、病室、コメント）を制限無く参照できること
	(9)	食事指示歴を印刷できること
	(10)	曜日ごとの指示ができること
	(11)	段階食のパターン登録ができること
	(12)	外泊・食止め・帰院指示がワンタッチで登録できること
	(13)	調乳・濃厚流動食の管理ができること
	(14)	食事指示入力後、同一患者に対して続けて食事指示を行うか確認メッセージが表示されること
	(15)	入院区分状態により、指示内容の初期表示が変わること
	(16)	選択食のアンケート結果を一括登録できること
	(17)	選択食アンケート結果をOCR取込できること(別途読込ソフトが必要)
	(18)	選択食アンケート取込件数結果が表示できること

(19)	選択食アンケート取込結果のエラー一覧が表示できること また、印刷が可能であること
(20)	食種指示（外泊・食止含む）を一括登録できること
(21)	主食一括変更ができること
(22)	調理作業表へ、キザミ・ミキサーの人数が個別に印字されること
(23)	システムによる更新と、オーダーによる更新を判別する機能があり更新情報の詳細が確認できること
(24)	診療科の情報を管理できること
(25)	配膳時間の情報を管理できること
(26)	各マスタの検索は検索用グループ毎と、文字列の組み合わせで絞り込み検索ができること （食種、主食、コメント、禁止コメント）
(27)	検索時に使用するマスターの表示順を指定できること （コメント、禁止コメント、食種、主食）
(28)	患者検索ができること
	複数の条件を指定して該当患者を抽出できること
	指定する条件の数に制限がないこと
	抽出結果は、患者ID、患者名、性別、生年月日、年齢、病棟、病室、食種、主食、塩分、時別コメント有無、共通コメント有無、禁止コメント有無、禁忌コメント有無、時別フリーコメント有無、共通フリーコメント有無、特食加算が一覧で表示できること
	抽出結果患者の詳細情報（身長、体重、主治医、担当医）が表示できること
	抽出結果患者の詳細コメント情報（時別コメント、共通コメント、禁忌コメント、禁止コメント、時別フリーコメント、共通フリーコメント）が表示できること
	抽出結果を、印刷できること
	データ印刷結果には検索パターン名を一緒に出力できること
	データ出力項目は任意に設定でき、その設定を保存できること
	利用者によってはデータ出力を制限する事ができること
	検索対象とする日時は時別（朝・昼・夕・朝前・昼前・夕前・10時・15時・夜食）または全日から選択できること
	検索結果の並べ替えができること（患者コード、患者名、性別、生年月日、年齢、病棟、病室、食種、塩分、主食で表示順位が指定できること）
	検索条件に、誕生日、フリーコメント、特食加算、選択食区分、入院外来区分を指定できること

		検索条件に、コメント・禁止コメント・禁忌コメント・フリーコメントの数を指定できること (〇個、同じ、以上、以下)
		検索条件をパターン登録できること
6.		食数関連帳票
(1)		以下の日次帳票を有すること
		食数集計表（食種別、病棟別）
		主食集計表（病棟別）
		コメント集計表（食種別、病棟別）
		主食集計一覧表
		コメント集計一覧表
		特記事項集計表
		加算食集計表
		食事変更者リスト
		食事変更者一覧
		配膳病棟別料理数一覧表
(2)		食数集計表、主食集計表、コメント集計表は、病棟別等に毎食出力できること
(3)		食数集計表、主食集計表、コメント集計表は集計の範囲および食種の出力範囲の指定ができること
(4)		食数集計表、病棟別食数集計表は、選択食別に集計できること
(5)		主食集計一覧表、コメント集計一覧は、数パターンの出力ができること
(6)		コメント集計表はコメントグループ毎に集計ができること
(7)		加算食集計表が出力できること。
(8)		食事変更、入退院、欠食、外泊等の患者リストが毎食出力できること
(9)		食事配膳表の出力ができること
(10)		食札印刷ができること
		食札のレイアウト編集ができること
		印刷レイアウトを複数パターン作成でき、印刷時に指定できること

	食種、主食、コメント、禁止コメント、病棟のマスタごとに文字色、背景色を個別に設定できること
	通常印刷以降、同日時にて変更のあった患者の差分のみを印刷する機能があること
	食種・病棟を指定した条件は、AND・OR指定ができること
	通常印刷、差分印刷、変更患者印刷したものを、それぞれ何度でも再印刷できること
(11)	食札の印字について以下の対応ができること
	当院が指定したコメントは常に同じ位置で印刷できること
	Excelにて指定コメントの変更ができるテンプレートがあり、ユーザが自由に設定できること
(12)	患者盛付表の出力ができ、患者単位、料理単位で出力できること
(13)	患者盛付表は個人献立に対応していること
(14)	以下の月次帳票を有すること
	食数集計表
	病棟別食数集計表
	日別食数集計表
	患者別給食一覧表
	加算食集計表
	入院基本料算定情報
(15)	入院基本料算定情報には、加算食・非加算食・流動食の食数と患者毎の加算状況が印字されること
(16)	選択食アンケート用紙の出力ができること
(17)	選択食アンケートは病棟、患者名の印字ができること
(18)	年齢別荷重平均栄養所要量表の出力ができること
(19)	2020年改定日本人の食事摂取基準に対応していること
(20)	外泊患者、入院患者、退院患者一覧表の出力ができること
(21)	予定食数集計表の出力ができること
(22)	以下の年次帳票を有すること
	食数集計表
	病棟別食数集計表

	(23)	令和2年度診療報酬改訂に対応していること
7.		発注
	(1)	生鮮食品は献立と予定人数から発注量を自動作成できること
	(2)	発注データの追加、削除、納品日の変更ができること
	(3)	発注データの使用日、使用時、発注単価、発注換算量、発注単位、発注量の変更ができること
	(4)	発注量の合計は自動計算できること
	(5)	発注業者の振替が食品毎にできること
	(6)	発注データは一日または時毎に作成できること
	(7)	発注量を患者（5グループ）と患者外（20グループ）に分類して作成できること
	(8)	献立登録食品を変換して、別食品として発注データを作成できること
	(9)	患者コメントに料理が指定でき、発注データ作成時に自動追加できること
	(10)	間食（朝前、昼前、夕前、10時、15時、夜食）の使用食品を、通常食（朝、昼、夕）に合算できること
	(11)	発注データを編集する場合、マークにより、生鮮食品、在庫食品、準在庫食品、その他の区別をつける事ができること
	(12)	発注データを編集する場合、自動作成、手動作成の区別をつける事ができること
	(13)	手動作成した食品に対して使用日を入力した場合、納品日を自動算出できること
	(14)	閾値を下回った在庫食品を任意の発注量で自動で発注データ作成できること
	(15)	各患者・患者外グループの発注量の内訳を確認および編集ができること
	(16)	複数の食品を選択して、発注業者を一括変更できること
	(17)	複数の食品を選択して、納品日の一括変更ができること
	(18)	「発注データ作成」「発注データ編集」が同一画面で行えること
8.		納品
	(1)	発注データを元に納品データ作成ができること
	(2)	納品量0のデータを作成する/しないの設定ができること
	(3)	納品食品の追加、削除、納品日の変更ができること
	(4)	納品食品の納品単価、納品換算量、納品単位、納品量の編集ができること

	(5)	納品量の合計が自動計算できること
	(6)	総金額、各患者・患者外グループ金額が自動計算できること
	(7)	納品データを編集する場合、マークにより、生鮮食品、在庫食品、準在庫食品、その他の区別をつける事ができること
	(8)	納品データを編集する場合、自動作成、手動作成の区別をつける事ができること
	(9)	「納品データ作成」「納品データ編集」が同一画面で行えること
	9.	在庫
	(1)	在庫食品の受け払い管理ができること
	(2)	在庫食品の棚卸入力を一画面で行えること
	(3)	出庫量を編集した場合、在庫量、在庫金額が自動計算できること
	(4)	在庫量を編集した場合、調整量、在庫金額および編集日以降の在庫量、在庫金額が自動計算できること
	(5)	購入量、出庫量、調整量の1カ月の合計が自動計算できること
	(6)	在庫量の調整処理(実在庫量を入力することで各出庫量に按分)ができること
	(7)	在庫金額の調整処理(実在庫金額を入力することで各出庫金額に按分)ができること
	(8)	出庫データ作成時の人数は「予定数」もしくは「実数」の設定ができること
	(9)	新しく作成した在庫食品の初期在庫繰越データ作成ができること
	(10)	在庫繰越データを編集する場合、マークにより、在庫食品、準在庫食品、その他の区別をつける事ができること
	(11)	在庫金額の合計は自動計算できること
	(12)	在庫の出庫順を任意で設定できること
	10.	材料関連帳票
	(1)	在庫食品の受け払い管理ができること
	(2)	在庫食品の棚卸入力を一画面で行えること
	(3)	出庫量を編集した場合、在庫量、在庫金額が自動計算できること
	(4)	在庫量を編集した場合、調整量、在庫金額および編集日以降の在庫量、在庫金額が自動計算できること
	(5)	購入量、出庫量、調整量の1カ月の合計が自動計算できること

	(6)	在庫量の調整処理(実在庫量を入力することで各出庫量に按分)ができること
	(7)	在庫金額の調整処理(実在庫金額を入力することで各出庫金額に按分)ができること
	(8)	出庫データ作成時の人数は「予定数」もしくは「実数」の設定ができること
	11.	見積
	(1)	見積対象食品の見積データを契約期間ごとに作成できること
	(2)	単価契約食品の見積データを任意の期間ごとに作成できること
	(3)	見積データ作成対象を「全て」もしくは「献立で使用している食品のみ」の設定ができること
	(4)	見積対象食品の追加、削除ができること
	(5)	見積対象食品の予定数量、予定単位、換算量、予定単価の編集ができること
	(6)	入札結果登録ができること
	(7)	食品の規格設定ができること 例) 精白米→規格：ササニシキ 牛肉→規格：3センチ角
	(8)	業者毎に入力された単価で最安の業者が契約決定業者として表示できること
	(9)	前回単価を予定単価として表示でき、前回単価より今回単価が高い場合自動落札させない機能があること
	(10)	見積データ作成時、前回単価を今回単価に反映できること
	12.	見積関連帳票
	(1)	見積書が出力できること
	(2)	請書・単価契約書が出力できること
	(3)	見積書の明細見出しの文言の変更ができること
	13.	栄養管理
	(1)	栄養管理計画、アセスメントを履歴管理できること
	(2)	職種名称・担当者・係数をマスターで設定できること
	(3)	栄養管理計画書が作成できること
	(4)	書式はテンプレートを自由に作成でき、複数のパターンで登録できること
	(5)	推定身長、推定体重の計算から、身長、体重が登録できること
	(6)	肥満度の計算式をBMI,カウプ指数、ローレル指数と変更して登録できること

	(7)	補助食品の登録の際、食品や料理の成分値を取得できること
	(8)	栄養管理は以下の情報を自動計算できること
		BMI
		肥満度
		IBW
		%IBW
		基礎代謝量
		推定身長
		推定体重
		目標摂取量
		経口摂取量
		補助摂取量
		総摂取量
		補給量
	(9)	患者個別のアセスメント表が作成できること
	(10)	アセスメント表の項目明細を任意設定できること
	(11)	アセスメントの帳票出力は過去の履歴も並べて印刷できること
	(12)	アセスメントにて以下の情報を自動計算できること
		BMI
		IBW
		%IBW
		必要エネルギー
		必要蛋白量
		必要水分量
	(13)	推定身長、推定体重の計算から、身長、体重を登録する事ができること
	(14)	平成26年度の厚生労働省の様式に対応していること

	(15)	各帳票はExcelにてダウンロードできること
	(16)	編集したExcelをシステムにアップロードできること
	14.	食品マスター
	(1)	食品毎に検索条件用のキーワードを登録できること
	(2)	検索条件用のキーワードは、食品ID、食品名称、名称(表示)から自動生成できること
	(3)	食品毎に税区分、税率が設定できること
	(4)	発注情報の履歴管理ができること
	(5)	発注履歴情報の一括更新ができること
	(6)	在庫自動発注の発注点（閾値）と発注量が設定できること
	(7)	食品画像を登録できること
	(8)	複数の食品から構成される加工食品が登録でき、成分値が登録できること
	(9)	食品マスターのデータを抜き取り、他のデータベースへ取り込むことができること
	15.	食糧マスター
	(1)	食止、外泊、各食種のコードは任意に作成できること
	(2)	食種マスターへ、食事療養区分を登録できること
	(3)	食種マスター追加および修正の際、登録済食種マスターの一覧が参照できること
	(4)	一日当たりの目標献立単価の上限下限が登録できること
	16.	料理マスター
	(1)	料理毎に検索条件用のキーワードを登録できること
	(2)	料理マスターにレシピを登録できること
	(3)	料理マスター、料理レシピのデータを抜き取り、他のデータベースへ取り込むことができること
	(4)	料理画像を登録できること
	17.	帳票一括印刷
	(1)	全ての帳票を帳票一括印刷画面で印刷できること
	(2)	一括印刷を行う帳票をパターンとして複数登録できること

	(3)	一括印刷は帳票毎に印刷開始日付、印刷期間、部数、備考、出力形式、出力プリンタの指定ができること
	18.	オーダー連携
	(1)	電子カルテシステムより、食事オーダー情報およびオーダー変更情報を受信すること
	(2)	電子カルテシステムより、入院、転科・転棟・転室、退院等の患者移動情報を受信すること
	19.	その他
	(1)	GHSに適合している製品であること
	(2)	受託者は、プライバシーマーク（JIPDEC認定）を取得し、十分な個人情報の取扱いが出来ること
	(3)	医事システム・オーダーリング・電子カルテとの接続、連携が多数あること
	(4)	コールセンターが設置され、十分なサポートが実施されること
	(5)	既存の栄養給食システムから新システムに、全ての献立情報、食品情報、マスタを移行すること
	20.	献立食品変換
	(1)	献立作成で使用した食品（茹で野菜）を、発注は(生野菜に)変換できる機能があること
	(2)	献立管理、材料管理ごとに変換率の指定ができること
	21.	個人献立
	(1)	基本献立に対して代替献立の登録ができること
	(2)	個人献立（禁止・アレルギー患者）の作成ができること
	(3)	個人献立を作成する際、対象患者の献立内に禁止食品が含まれている場合、確認のメッセージボックスが表示されること
	(4)	確認のメッセージボックスには、日付、時区分、患者ID、患者名、対象料理、禁止食品、禁止コメントが表示されること
	(5)	献立料理を一画面で表示し、代替料理の登録ができること
	(6)	作成した個人献立を別患者へ複写できること
	(7)	料理と禁止コメントの組み合わせによる代替料理をパターンとして登録できること
	(8)	代替献立が他の禁忌に該当していないかチェックできること
	(9)	個人献立に対応した帳票を有すること。（献立表、糖尿、腎臓交換表）
	(10)	個人献立指示内容を発注、調理指示帳票に反映できること

	(11)	食札に個人献立メニューの印刷ができること
	(12)	患者盛付表に個人献立のメニューが印刷できること
	(13)	代替登録内容を帳票として印刷できること
	(14)	患者の主食に合わせ主食代替が登録できること
	(15)	患者のコメント情報からコメント付加料理が登録できること
	22.	調乳
	(1)	調乳・濃厚流動食の管理ができること
	23.	複数事業所機能
	(1)	1つのデータベースで複数の事業所を管理できること
	(2)	1つの事業所で作成したマスタを他の事業所へ複写できること
	(3)	1つの事業所で作成した献立を他の事業所へ複写できること
	(4)	他の事業所へ複写は、範囲指定、個別指定が行えること
	(5)	全書き換え複写、追加データ複写、変更差分のみ複写から選択できること
	(6)	各画面で事業所切替を行えること
	(7)	ユーザー毎に参照可能事業所を設定できること
	24.	運用チェック
	(1)	献立作成状況のチェック機能があること
	(2)	献立作成状況のチェック機能は日付範囲、時区分、対象食種の指定が行えること
	(3)	患者献立作成状況のチェック機能があること
	(4)	患者献立作成状況のチェック機能は日付範囲、時区分の指定が行えること
	(5)	発注データ作成状況のチェック機能があること
	(6)	発注データ作成状況のチェック機能は日付範囲の指定が行えること
	(7)	「献立編集」、「患者別禁止代替料理登録」、「発注データ編集」へ画面遷移ができること
	25.	運用チェック
	(1)	Web発注システムと連携できること
	(2)	出力するデータは日付、食種の範囲指定ができること

26.	外部連携
(1)	事業所毎に以下マスター項目の変更可、不可の設定ができること
	食品マスター
	料理マスター
	食種マスター
(2)	本部から各事業所へマスター複写（変更差分のみ複写）を行う場合、変更不可の項目のみ複写されること
(3)	各事業所は発注データの確定処理を行えること
(4)	発注データの確定処理は一括で行えること
(5)	各事業所は発注データの処理状況を確認できること
(6)	本部は各事業所の発注データを集約した結果を確認できること
(7)	本部は各事業所の発注データを変更できること
(8)	本部は発注データの処理状況を確認できること
(9)	本部は発注データの処理状況によりデータの絞り込みができること
(10)	本部は各事業所で確定した発注データの取消ができること
27.	保守
(1)	メンテナンス保守費用を含むこと。保守対応時間は平日の9時から17時30分までとすること。